

「子育て支援」で交通費を補助できないか

山田町長／国の動向を見て検討したい

北郷 小・中学生に対する町民バス利用運賃への助成や高等学校等の通学定期券への助成を実施し、子育て家庭の経済的負担を軽減することも、安心してゆとりある子育てができるよう支援していへきではないですか。



高校生が通学しているようす（広野駅ホーム）

町長 平成21年度から中学生まで年齢を引き上げた医療費の無料化、幼稚園児の第3子以降の園児に対し給食費・保育料・入園料および預かり保育料の免除、さらには第3子以降の出産祝金の増額など、子育てしやすい環境づくりに努めてきました。

国において平成22年度から「子ども手当」の導入が予定されていますので、町としても、今後の国の支援策を見すえ慎重に検討していきます。



北郷 幹夫 議員

集中改革プランどおり進んでいるのか

山田町長／引き続き行財政改革を推進する

北郷 今年度は、国が推進のための新たな指針「にもとづき策定した「広野町集中改革プラン」(平成17年度～平成21年度)の最終年度に当たります。

現在までの集中改革プランの進み具合、および行政改革推進委員会の経過、ならびに次年度以降の計画はどうなっていますか。

町長 「事務事業の再編・整理、廃止・統合」については、戸籍事務の電算化や総合窓口の設置による事務の迅速化、乳幼児医療費の窓口払い無料化などによる手続きの簡略化を進めてきました。

次に、「民間委託等の推進」については、財政がたいへん厳しい状況ですので、委託内容をよく検討しつつ民間委託の推進を進めるとともに、職員で対応できるものは職員が管理運営するよう努めています。

次に、「定員管理の適正化」については、目標に対し1人減の6人削減の見込みです。今後は収支均衡型の財政運営を行うために、引き続き行財政改革を推進し、さらなる事務事業の見直しを心がけていきます。

緊急時の避難と支援対策は万全か

山田町長／自主防災組織づくりを支援する

鈴木 桜田住宅を買い受け、1戸建ても含めると町営住宅はかなりの数になっています。入居状況と家賃の収納状況、維持・管理の実情、さらに今後の管理のあり方についてお聞きします。

町長 総戸数209戸のうち、188戸に入居しており、家賃の収納状況については、1月末現在、過年度分として1435万200円が未納になっています。

住宅によっては、経年劣化により傷みが出ているところもあることから、年次計画で改修工事を進めています。木造住宅については退去しだい取り壊しを行っています。

鈴木 災害に対する緊急時の避難と支援対策についてお聞きします。

(1) 町内各行政区組織への地域住民の加入状況、自主防災組織づくりの現状について
(2) 緊急避難時に支援を必要とする要保護者の実態と、その支援体制について

(3) 町職員による消防団の構成やポンプ車の配備、また、建設業組合や立地企業等、町内在勤者の多い企業との支援・応援協定等について

町長 全世帯が行政区に加入していただけるよう努めていますが、自主防災組織に

ついては組織づくりが進んでいないのが現状です。

今後とも行政区長さんと連携して結成に向けた取り組みと支援を行っていきます。

また、災害時要援護者への情報伝達体制や避難支援体制の整備をはかるため、「災害時要援護者の避難支援プラン」を策定するとともに、災害時要援護者として登録を希望する方の「個別計画カード」を作成し、災害時に備えていきます。

なお、現在の消防団

員数131人のうち、町職員は20人で、消防車両については、ポンプ車、タンク車、積載車合わせて14台を保有して各分団に配備するとともに、日中の火災に際し、町職員の消防団員が即現場に出勤できる体制として、役場に積載車1台を配備したところです。

また、消防団員数が減少する中で、消防団の活性化をはかるためには、企業等の社員が入団しやすい環境づくりや事業所の理解と協力が不可欠であることから、当町におきましても消防署と連携をはかり、「消防団協力事業所表示制度」の普及を強く推進しています。

町営住宅をしっかりと管理せよ

山田町長／年次計画により改修を進める

鈴木 正範 議員



桜田住宅（桜田地区）

その他の質問

第4次町勢振興計画の方向性は

山田町長「安心・安全で住みよくなるまちづくり」